

31 多教図第 25 号
平成 31 年 4 月 9 日

多摩市の社会教育を考える会
代表 荒井 容子様

多摩市教育委員会
教育長 清水 哲也



多摩市立図書館本館再整備基本・実施設計の今後の進め方について（回答）

日頃より多摩市の教育行政及び図書館運営にご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。
このたびご要望いただきました、図書館本館再整備基本・実施設計の今後の進め方について、下記のとおりお答えします。

記

1 基本・実施設計業務受託者の提案書の公開等について

基本構想や基本計画に基づき行う基本・実施設計業務委託の受託者については、平成 30 年 9 月から平成 31 年 1 月まで、学識経験者等により構成する審査委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により審査しました。公表した「審査結果報告書」にあるように、審査の中では、提案依頼に対する提案書の内容だけでなく、第二次審査におけるプレゼンテーションと、それに対する質疑応答により、基本計画に対する理解度の高さを含めた様々な点が評価され、現在の受託者が選ばれました。

提案の中には、市民が設計や建設に参画するための進め方として、基本設計や実施設計と並行して行うワークショップの提案があり、設計者も入って一緒に話し合う場となるよう、平成 31 年 4 月からの開催に向けて、現在準備を進めています。

また、具体的な設計作業としては、基本計画と、それを踏まえた設計者のアイデアをもとに、法令上の条件の精査や、敷地測量の結果など、基本的な部分の確認を内部で進めており、ワークショップを含めた様々な場面で、情報提供、市民参画の機会を持ちたいと考えています。

2 本館再整備に向けて市民の関心を高める施策について

前項でもお示したように、設計者としても、市民とともに図書館づくりを進めるため、設計段階で並行してワークショップを行いながら、市民・図書館職員・設計者が共に学びながら進めていく姿勢を持っており、教育委員会の考えと同じ方向を向いていると認識しています。

また、基本設計や実施設計の成果については、それぞれの節目で、ワークショップとは別に、市民にご説明する場を設定したいと考えています。

これまで基本構想や基本計画では、ヒアリングや懇談の場で意見交換を行ってきた経緯もあり、例年開催している利用者懇談会の場を含め、図書館職員が市民とともに学ぶ場を、引き続き設けていきたいと考えています。

市民の皆様に「わたしの図書館」「わたしたちの図書館」という想いで参画いただけるよう、今後とも取り組んでいきたいと思っております。